

文化施設等のあり方検討に関するアンケート調査結果【概要版】

	青海・南陵公民館 利用者	図書館 非利用者	全市民	
			図書館 利用者	図書館 非利用者
回答者数 ※	512人 うち公民館利用者 350人 図書館利用者 162人	409人 うち利用したことがない 78人 今は利用していない 331人	333人 うち週数回程度 24人 月数回程度 156人 年数回程度 153人	481人 うち利用したことがない 165人 今は利用していない 316人
年齢層	・70歳代が約4割	・40・50歳代が全体の1/4ずつ ・60歳代は全体の1/5	・中学生・40歳代が全体の1/5ずつ	・中学生が全体の4割
居住地区	・公民館は地元利用者が半数 ・青海本館は鬼崎・常滑地区の利用者、南陵分館は常滑・南陵地区の利用者が多い。	・半数が常滑地区	・鬼崎地区が全体の3割、常滑地区が全体の4割	・鬼崎・常滑地区が全体の4割ずつ

※全体で1,735人（人口の約3%）が回答

1

1-1. 図書館について（共通項目）

	青海・南陵公民館 利用者	図書館 非利用者	全市民	
			図書館 利用者	図書館 非利用者
図書館の 利用頻度	・利用している人のうち 月数回～年数回が9割 ・「行ったことがない、めったに 利用しない」が全体の2割	・「今は利用していない」が 全体の8割 ・「利用したことがない」のうち 3割が19～30歳代	・全市民アンケート回答者の4割 そのうち月数回～年数回が 9割以上を占める	・「今は利用していない」が全市民 アンケート回答者の4割（うち中 学生が3割） ・「利用したことがない」が全市民 アンケート回答者の2割（うち中 学生が6割）
図書館のあり方	①各地区同規模(41%) ②廃止前と同規模(29%) ③中央に大規模(14%)	①廃止前と同規模(46%) ②中央に大規模(26%) ・鬼崎地区では選択率が高い ③各地区同規模(14%) ・青海・南陵地区は他の地区 と比べて選択率が高い	①廃止前と同規模(40%) ・年齢が上がるほど選択率が高 くなる ②各地区同規模(26%) ・中学生では他の年代に比べて 選択率が高い ③中央に大規模(18%)	①廃止前と同規模(29%) ・年齢が上がるほど選択率が高 くなる ②各地区同規模(20%) ③中央に大規模(19%)
図書館に 併設されていると よい施設・機能	—	①飲食施設(54%) ②スペース※(23%) ③学習室(16%)	①飲食施設(46%) ②スペース※(21%) ③学習室(18%)	①飲食施設(55%) ②学習室(18%) ③商業施設(12%)

※(一例)落ち着いて読書できるスペース、多目的スペース、休憩エリア、ギャラリー、広場など

2

1-2. 図書館について（利用者のみ）

	青海・南陵公民館利用者	全市民（図書館 利用者）
分散移転後の 利用頻度の変化	・いずれの地区も「変わらない」が多い ※鬼崎・常滑地区は「減った」が4割	・「変わらない」が4割、「減った」が3割 ※19歳以上では「他市町の図書館の利用頻度が増えた」の割合が一定数ある
図書館に 求めるもの	—	①行くのに便利な場所にある(57%) ・いずれの年代でも選択率が高い ②所蔵する本や資料の冊数・種類が多い(37%) ・30～40歳代は選択率が高い ③本を借りなくても1日過ごせる居心地の良い空間である(32%) ※中学生～29歳は、「学習室、学習スペースが併設されている」の割合も高い
公民館図書室の あり方	①現在の規模を維持してほしい(57%) ②玄関ホールの中棚のみ撤去(16%) ③分散移転前の状態(12%)	—

3

1-3. 図書館について（非利用者のみ①）

	図書館 非利用者	全市民(図書館 非利用者)
各図書館の 認知度	・最も認知されているのは子ども図書室(86%) ・3館とも知っているのは全体の半数 ・19～29歳は各図書館の認知度も低く、「どれも知らない」の割合も高い ※地区別では青海地区では青海本館、南陵地区では南陵分館の認知度が最も高い	・最も認知されているのは子ども図書室(60%) ・3館とも知っているのは回答者の3割 ・中学生は「どれも知らない」の割合が他の年代よりも高く、各図書館の認知度も低い
利用しない 理由	①読みたい本は購入している(27%) ・19～60歳代は選択率が高い ②読みたい本が図書館にない(26%) ・30～70歳代以上は選択率が高い ③パソコンやスマホで調べものができる(26%) ・60～70歳代以上は選択率が高い	①読みたい本は購入している(39%) ・中学生、30～70歳代以上は選択率が高い ②パソコンやスマホで調べものができる(26%) ・中学生、50～70歳代以上は選択率が高い ③本を読まない(24%) ・中学生、19～29歳は選択率が高い ・鬼崎地区の割合が高い

4

1-3. 図書館について（非利用者のみ②）

	図書館 非利用者	全市民(図書館 非利用者)
どのような図書館であれば利用するか	① 本を借りなくても1日過ごせる居心地のよい空間がある(32%) ・年齢が上がるほど選択率が高くなる ② 行くのに便利な場所にある(19%) ・16～29歳、40・70歳代以上は選択率が高い ③ 商業施設の中など他の用事のついでに寄れるような場所にある(16%) ・30歳代以上は選択率が高い ※ 鬼崎・常滑地区では他の地区より「学習室・学習スペースが充実している」の割合が高い	① 行くのに便利な場所にある(26%) ・19～29歳、70歳代は選択率が高い ② 本を借りなくても1日過ごせる居心地のよい空間がある(24%) ・年齢が上がるほど選択率が高くなる ・青海・南陵地区は他の地区より選択率が高い ③ 学習室・学習スペースが充実している(11%) ・鬼崎・常滑地区が他の地区より選択率が高い

5

1-4. 図書館のあり方について（自由意見）

- ・ **カフェ、飲食できる**場所がほしい
- ・ 子どもも大人も利用できる **学習室**がほしい
- ・ 人が集えたり、作業に使えたりするような **多目的なスペース**がほしい
- ・ 複合化するなら **十分な駐車場**がほしい
- ・ 貴重な蔵書は別に貸出されるようにしてもいいと思うが、電子書籍で補えるものは切り替えていく方がいいと思う
- ・ 法に規定された図書館でなければできないことがあるかもしれないが、それがどれほどの影響があるものなのか
- ・ 今の施設で十分だと感じている。新しい施設は **整備だけでなく維持管理費用**もかかる

6

2－1．公民館について

	青海・南陵公民館利用者
公民館の利用頻度	①月数回程度(36%) ・公民館利用者・図書館利用者ともに最も多い ②定期的には利用していない(24%) ③週1回程度(15%) ④年数回程度(13%) ※南陵公民館はeスペースの利用者が多いため、「テスト週間のみ利用」との回答もあった
公民館のあり方	①各地区同規模(84%) ②中央に大規模(5%) ③回答なし(8%)

・公民館のあり方に関しては、「**各地区同規模**」の割合が高い

7

2－2．公民館のあり方について（自由意見）

- ・ **カフェ、ホール、喫茶コーナー**がほしい
- ・歩いて行ける場所にほしい、**巡回バスなどの交通の便**を良くしてほしい
- ・相談窓口の設置などプラスの価値があるとよい
- ・ **キッズルーム**がほしい
- ・若い世代が使いやすいよう、**小さい子用の公園**がほしい
- ・ **3館の行事**などを**連携した内容**にしてほしい
- ・ **将来負担が少ない**規模がよい

8

3-1. 文化会館について

	図書館 非利用者	全市民	
		図書館 利用者	図書館 非利用者
文化施設との複合化	①経費面でメリットある方法(43%) ・19～50歳代は選択率が高い ② 図書館 / 会館・中央 (20%) ・鬼崎・常滑地区では他の地区より選択率が高い ③すべて併設(16%)	①経費面でメリットある方法(37%) ・30～50歳代ではそれぞれ約半数が選択 ② 図書館 / 会館・中央 (22%) ③すべて併設(18%)	①どのような形でもよい(26%) ・中学生では6割が選択 ②経費面でメリットある方法(21%) ・中学生では他の年代より選択率が低い ③すべて併設(20%)
ホールの規模	①500席程度(38%) ② 1,000席以上 (30%) ③別の事業に費用をかけてほしい(14%) ・30～40歳代では選択率が高い	① 1,000席以上 (35%) ②500席程度(30%) ③どのような形でもよい(14%)	① 1,000席以上 (32%) ②500席程度(27%) ③どのような形でもよい(23%)

9

3-2. ホールのあり方について（自由意見）

- ・現在の文化会館は大きすぎる
- ・セントレアホールや愛知県国際展示場など市内の別のホールや近隣自治体の施設を上手く活用すればいいのではないかな
- ・今の文化会館のように様々なイベントを行えるホールは必要だと思う
- ・イベント・企画を増やしてほしい
- ・維持費もかかるので、適切な規模がよい
- ・今の文化会館の大ホールはまだまだ立派なので、あと20年ぐらい延命してはどうか
- ・500席のホールでよいが、座席・バックヤードが設備してあるとよい
- ・駐車場を整備しないと不便

10